

## 函館新聞のニュースになりました！！ (遺愛生がポスターを二つの幼稚園に贈りました。)

6月11日函館新聞朝刊に、遺愛生が遺愛幼稚園と遺愛旭岡幼稚園に新型コロナ対策ポスターを贈った記事が出ていました。

遺愛女子高校は8日、同校3年の生徒が制作した新型コロナウイルスの感染対策を呼び掛けるポスターを、同学院の遺愛幼稚園（函館市元町）、遺愛旭岡幼稚園（同市西旭岡町）の両園に贈った。同日、両園で贈呈式が開かれ、生徒から園児がポスターを受け取った。

ポスターは、同校普通科一般コースの3年生が4月中旬～5月上旬のウイルス拡大に伴う休校期間中に制作。「保健」の授業科目の課題として取り組んだ。ウイルス収束の兆しが見えない中、園での感染防止に役立ててもらおうと贈呈を決めこの日遺愛幼稚園で開いた贈呈式には同園の年長、年中園児28人が参加。同高3年の佐々木ゆうなさん、本村理沙子さんが訪れ、代表の園児に額縁に入ったポスター6枚を手渡した。ポスターは手洗いやうがい、マスクの着用をかわいらしいデザインで呼び掛けるもので、参加した園児は全員で「僕たち、私たちはコロナに負けないで頑張ります」と元気な声で誓った。同園では感染防止策としてマスク着用のほか、毎日検温検査表を提出し、登園後は手をアルコールで消毒。園内と通園バス内の消毒も徹底している。同園の松村美保子教頭は「寄贈は大変ありがたい取り組みで、子どもたちの見えるところに飾って活用したい」と話していた。

また、遺愛旭岡幼稚園には、高3の佐竹花香さんと長濱ひかりさんが訪問し、年長さんにポスターを手渡した。



遺愛旭岡幼稚園で贈呈した時の様子



2020年6月11日（木）